



花巣蜂

は ち す は な

令和8年2月27日 第11号
新潟市立赤塚中学校
全校生徒150名 男子76名 女子74名
TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313
E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp

俺の敵はだいたい俺です

「宇宙兄弟」(小山宙哉作・講談社)という漫画があります。この漫画は、幼いころ月へと消えていくUFOらしきものを目撃した兄の南波六太(ムッタ)と弟の南波日々人(ヒビト)が「宇宙飛行士になって月に行く」という約束を交わし、様々な困難に立ち向かいながらも夢を追いかけ続ける物語です。

この漫画の主人公であるムッタは、天才的な弟のヒビトと自分を比べてばかりのネガティブ思考。また、怠け癖があるうえに優柔不断ときています。一時期、宇宙飛行士になる「夢」をあきらめていましたが、弟のヒビトに触発され、採用試験にチャレンジします。ただし、それは、何十万人の受験者からたった数名しか採用されない超難関の試験です。でも、「こそぞ!」というときに頑張れる部分をもっているのもムッタです。そんなムッタには、数々の名言があります。

苦難の末、ついに宇宙飛行士候補生になったとしても、自分より優秀な競争相手を蹴落としながら、競争を勝ち抜かなければ、本当の宇宙飛行士になることはできません。そんな、厳しく追い詰められた状況の中、ムッタが、訓練教官のビンセンス・ポールドから「あなたの敵は誰ですか?」という質問を投げかけられる場面があります。

訓練教官はもちろん、ムッタが競争相手である他の候補生たちについて語るだろうと想像していたはず。しかし、ムッタの答えは違っていました。「俺の敵はだいたい俺です。自分の宇宙へ行きたいという夢を散々邪魔して足を引っ張り続けたのは、結局俺でした。他に敵はいません」と答えたのです。

宇宙へ行きたいという夢を邪魔して足を引っ張り続けたのは結局自分自身だった。倒さなければならぬのは、他の誰かではなく、自分の思考や言動そのものだということです。この重要さに気付かせてくれた大切な恩人がいると話すシーンでの言葉で、以前「私たちの道徳」(文部科学省編)という教科書にも載っていました。

もちろん、私自身の中にも、自分を邪魔する自分がたくさんいます。「時間がない」「忙しい」「やりたいけど.....」「どうせ私には.....」と、できない言い訳ならいくらでも出てきます。そして、「何か」や「誰か」のせいにしてあきらめようとしてしまいます。また、自分の感情を抑えることができず、せっかくのチャンスを無駄にしてしまうこともあります。他の誰でもない自分自身が自分の成長を止めてしまうわけです。



ムッタは、この後も宇宙飛行士になる「夢」を追いかけていきます。その姿に倣い、私自身も『すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校』という「夢」に向かって進んでいこうと、いろいろなことに取り組み始めました。そして、まずは《向上を目指す3つの力》、特に「自分と向き合う力」、「自分を高める力」を意識し、自分に負けない心を常にもつようにしたいと思います。

みなさんも、もし、何かに挑戦したくても頑張れなかったり、できない自分に目をそむけたくなくなったりがあつたら、「何か」や「誰か」のせいにするのではなく、まずは「自分自身」を見つめることから始めてはいかがでしょう。そして、今の自分の本当の敵をしっかりと把握して何事にも全力で取り組んでみましょう。

令和7年度「教育ビジョン評価」の結果



12月に実施しました学校評価に関わるアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
生徒のみなさん、保護者の皆さまからいただいた貴重な回答結果を、次年度の教育ビジョンと重点項目の設定に活用し、今後の教育活動の工夫と改善を図ってまいります。

重点1 めあてをもって最後までやりぬく生徒

【方策・手立て】

- ・教師の日常的な見取りとフィードバックで、生徒に意識づける取組を意識的に行う。
- ・生徒が自主的に《向上を目指す3つの力》を伸ばす環境・状況を意図的に仕掛ける。
- ・生徒による振り返りを習慣化し、自分自身を客観的に言語化する力を高める。



【年度末評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア あきらめず、ねばり強く学習や生活に取り組むことができる (生徒アンケート：肯定的評価)	80%以上	後期	91.7%	A
		前期	87.1%	
イ 生徒に、やる気や向上心、自制心や忍耐力が育っている (教職員アンケート：肯定的評価)	80%以上	後期	96.7%	A
		前期	90.7%	
ウ 子どもと進路や将来の夢についてよく話している (保護者アンケート：肯定的評価)	80%以上	後期	81.0%	B
		前期	76.3%	

【成果と課題、次年度への展望】

すべての項目で、前期に比して達成状況が向上しました。夏休み明けから、「クラス会議」や「キャリア・ノート」を通じて、生徒による「振り返り」を繰り返し行い、自分自身を客観的に自己認識したり、自己評価したりする経験を重ねた成果と捉えています。特に、風輝祭や合唱祭に向けた取組では、《向上を目指す3つの力》を伸ばす仕掛けとして「振り返りシート」を活用し、事前・中間・事後の「振り返り」を充実させることに努めました。

次年度は、「見通し」や「振り返り」の際に、さらに客観的な自己認識や自己評価ができるよう、具体的な「行動指標」を活用し、自分自身をメタ認知し言語化する力の向上を図ります。

重点2 他を思いやり 励まし合って互いに向上しようとする生徒

【方策・手立て】

- ・“傾聴”を核として、誰もが安心して学習・生活できる学級づくり・集団づくりに努める。
- ・生徒全員でクラスの問題を話し合い、解決策を考え、所属感・信頼感・貢献感を育てる。
- ・学年通信・学級通信を適時的フィードバックのツールとして活用し、保護者とも共有する。

【年度末評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 友達と力を合わせて学習したり、活動したりしている (生徒アンケート：肯定的評価)	80%以上	後期	95.8%	A
		前期	94.3%	
イ 生徒に、協調性や共感性、コミュニケーション力が育っている (教職員アンケート：肯定的評価)	80%以上	後期	93.4%	A
		前期	93.8%	
ウ 子どもに思いやりの心や仲間を大切にすることが育っている (保護者アンケート：肯定的評価)	80%以上	後期	92.6%	A
		前期	96.7%	

【成果と課題、次年度への展望】

評価対象項目イ・ウで、肯定的評価の割合が前期に比して減少してしまいましたが、生徒の評価は向上しました。夏休み明けに「幸せメガネ」について学習し、「3つの感謝」を毎日の日誌（ライ

フ)に書く活動に継続的に取り組んだ成果と捉えています。取組の内容は、学年・学級だよりでご家庭に定期的にフィードバックし、保護者の方から好意的に受け取っていただいています。

次年度も、「傾聴」(注目：相手に目を向ける 集中：聴くことに集中 肯定：否定しないで聴く)を学校のあらゆる活動の基盤とするとともに、「クラス会議」を意図的・計画的に実施し、学校行事の目標づくりや学年・学級の課題などについての話し合い活動の充実を図ります。これらの取組を継続することで、相手を思いやり、励まし合い、話を真剣に聞くことで、互いに向上しようとする生徒の育成に努めます。

重点3 すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校

【手立て】

- ・教育目標を具体的な行動指標へと落とし込んでいくプロセスをチーム学校として取り組む。
- ・体験から経験、経験から学びへと向かう「AARサイクル」により、振り返りの質を高める。
- ・「キャリア・ノート」との関連を工夫し、振り返りによる自己客観視に向かう評価に努める。

【年度末評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 学校生活は楽しい (生徒アンケート：肯定的評価)	90% 以上	後期	95.8%	A
		前期	90.8%	
イ 生徒は、楽しく学校生活を送っている (教職員アンケート：肯定的評価)	90% 以上	後期	100%	A
		前期	100%	
ウ 子どもの学校生活は楽しく充実している (保護者アンケート：肯定的評価)	90% 以上	後期	91.5%	B
		前期	97.8%	

【成果と課題、次年度への展望】

生徒アンケートの結果は5ポイント増加しましたが、保護者アンケートの結果は6.3ポイント減少してしまい、重点2と同様に対照的な結果となりました。夏休み明けから、「体験・経験・学び」の構造として、「体験」したことで生まれた感情を内面化し、「経験」から教訓や改善点を得ることで「学び」につなげることを意識して取り組みました。特に、風輝祭や合唱祭で、「AARサイクル」を回すことと「振り返り」を充実させた成果と捉えています。しかし、「キャリア・ノート」を、家庭と学校を結ぶ有効なツールとして活用することが不十分であったため、生徒と保護者の認識にずれが生じたと捉えています。

次年度は、学年初めや風輝祭・合唱祭などの学校行事、前期・後期の振り返りを行う際に、「向上を目指す3つの力」はどんな感じかを自己評価し、「キャリア・ノート」に目標や取り組みたいことを記入したり、頑張ったことをまとめたりすることを計画的に行い、家庭との連携を図ります。

令和7年度 後期学校評価(保護者アンケート)の結果

項目	質問内容	今年度 ※1 肯定的 評価割合	※2 単年度 評価	※3 前年同期 比較評価	前年同期 肯定的 評価割合
1	学校の取組や教育方針が学校のホームページや各種たよりなどでよく分かる。	93.7%	◎	△	94.2%
2	地域と学校パートナーシップ事業やコミュニティ・スクールについて内容をよく知っている。	57.9%	●	△	59.4%
3	学校は、お子さんの困り感に気づき、配慮・支援している。	91.5%	◎	○	88.4%
4	全体として赤塚中学校の教育に満足している。	89.5%	○	△	91.3%
5	お子さんと中学校卒業後の進路や将来の夢についてよく話している。	81.0%	○	△	82.6%
6	お子さんは自然環境保全の意識が高いと思う。	65.2%	▲	●	72.5%

項目	質問内容	今年度 ※1 肯定的 評価割合	※2 単年度 評価	※3 前年同期 比較評価	前年同期 肯定的 評価割合
7	お子さんは思いやりの心や仲間を大切にしている心があると思う。	92.6%	◎	●	98.5%
8	お子さんはあいさつや服装、時間を守るといった基本的な生活習慣が身についていると思う。	87.4%	○	△	88.4%
9	お子さんを通じて、学校からの健康診断結果のお知らせや保健だよりにより目を通してしている。	89.4%	○	○	85.5%
10	学校からの検診結果や保健だよりなどをもとに、必要な治療や検査を受けるなど、日頃から健康づくりをしている。	86.3%	○	●	88.4%
11	お子さんとの会話などで、お子さんは先生に相談しやすいと感じていると思う。	82.1%	○	○	78.3%
12	スマホやゲーム機器などの利用で、お子さんとの約束事がある。	66.3%	▲	△	68.1%
13	お子さんは家庭において何かしらの役割（家庭での手伝いや仕事）を担っている。	61.0%	▲	○	52.2%
14	お子さんはどんな理由でもいじめはよくないと考えている。	98.9%	◎	△	100%
15	お子さんは朝食を毎日しっかりと食べている。	96.8%	◎	△	98.5%
16	お子さんの学校生活は楽しく充実していると感じる。	91.5%	◎	△	92.7%
17	後期の PTA 学年行事（個別懇談会なども含む）に参加した。	100%	◎	△	100%
自由記述	<p>○先生から気にかけてもらったり、相談や配慮してもらったりしていることへの感謝（3名）</p> <p>○学年・学級だよりを通じて、学校の様子がよく分かる（2名）</p> <p>○「幸せメガネ」の子どもたちのコメントが微笑ましい（1名）</p> <p>●学習面のフォローについての質問と成績不振が不登校につながらないかの心配（1名） ⇒「非認知能力」をバランスよく高めることにより、「認知能力（学力）」も高まるといわれています。《向上を目指す3つの力》に焦点を当てた取組を継続することで解決を図ります。</p> <p>●メイクや染髪をしている生徒に対しての指導を求める（1名） ⇒「北風と太陽」のお話があります。このお話の真意は「信頼が得られれば人は動く」ということです。課題を抱えたお子さんは心を閉ざした状態である（不信感）と考えられます。北風の対応では、「心の鎧」（不信感）を脱がせることはできません。時間をかけて信頼関係を築いていくことを大切にします。きっと理解してくれる時が来ると信じます。（文責：校長）</p>				

※1 「肯定的評価割合」＝ 回答1「思う」・回答2「やや思う」等の合計

※2 「単年度評価」＝ 90%以上:◎、90%～80%:○、80%～70%:△、70%～60%:▲、60%未満:●

※3 「前年度比較評価」＝ +2%～:○、±2%:△、-2%～:●



3月の主な予定			
3/2(月)	全校式予行 卒業式準備 フッ素洗口	3/16(月)	フッ素洗口
3(火)	第79回卒業証書授与式 3学年PTA 解散式	17(火)	後期終業式
4(水)	公立一般選抜 1・2年実テ 専門委員会	18(水)	学年末休業開始 公立二次選抜
5(木)	公立一般独自検査 ALT	19(木)	公立二次選抜合格発表
6(金)	学習参観 1・2学年PTA 総会	20(金)	春分の日
9(月)	公立一般選抜追検査 フッ素洗口	24(火)	離任式
10(火)	公立一般独自追検査	26(木)	入学オリエンテーション
12(木)	公立一般選抜合格発表	4/7(火)始業式 18(土)～3年修学旅行 23(木)3年全国学テ	